

超音波気管支鏡ガイド下生検における生検針の有効性の比較

1. 研究の対象

2017年4月～2019年3月に当院で超音波気管支鏡検査を受けた方

2. 研究目的・方法

従来用いていた生検針と、新しい生検針（細い針）の診断結果を比較して、より低侵襲な検査が行えるかを検証します。方法としては、2017年4月から2019年3月までの間に千葉大学医学部附属病院にて超音波気管支鏡検査を施行した患者様の生検針の種類や成績、合併症といった臨床データを解析・検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、超音波気管支鏡所見、病理結果、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の提供者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

電話番号：043（222）7171 内線 6762 呼吸器外科外来受付

担当：千葉大学医学部附属病院 呼吸器外科学 坂入祐一

研究責任者：千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科 鈴木 秀海